



シリコンバレー流問題解決手法 ～デザイン思考を体験してみよう～

2021.5.13 (thu) 17:30-
@fuse event space



「デザイン思考」とは？体験&学習から問題解決手法を知る

デザイン思考静岡研究会会長、FUSE メンバーでもある門奈哲也さんが講師を務め、ワークショップを交えながら行われたイベント。「デザイン思考の初級編」ということで、多くのメンバーが参加した。デザインというと、意匠デザインや洋服や建築など、いわゆる「デザイン」を思い浮かべる人がほとんどだろう。そのような狭義のデザインではなく、地域社会などで課題があること、困っていること、変えていきたいことなど、広義を捉えたものがデザイン思考でいう「デザイン」だ。必要なものがありふれて満たされている世の中で、どのような考え方をしていけば人々が中心となってデザインを考えることができるのか。今回は「デザイン思考」をキーワードに、失敗を早く繰り返す「リーンスタートアップ」の手法を学んだ。前半の体験型ワークショップでは、まずブロックでアヒルを作成。同じデザインになるのは誰一人いないという結果から、1人1人の考え方は異なる

ことが分かり、お互いのアイデアを尊重する気持ちを持つことができた。そして4～5人が一組になり、5分でストローを組み立てて高さを競うストローチャレンジも実施。「早く試して、早く失敗して」を何度も繰り返して、チームでストローを自立させる「リーンスタートアップ」の手法で高さを競った。今までにあまりないワークかつ、グループで行ったため、初対面の人ともすぐに打ち解けられて大好評だった。

そこに人がいて、その人の課題に着目し、潜在的なニーズや困りごとに共感や深掘りをする。問題を解決できる定義を設定し、多方面の角度や分野の人々が、さまざまなアイデアを出す。その中で一番画期的かつユニークなアイデアに対してプロトタイプを作成。ユーザーが試した後に、フィードバックするという問題解決手法「デザイン思考」。そのプロセスを手軽に体験・学習できる機会となった。

